

# 山口のみよさん ありがとう

Hattori Michiko

はっとり みちこ

ミーちゃん

チャコちゃん



装丁 / 溝上なおこ

母がなくなつて、しばらく経ちました。母の遺品の整理等、掃除もありまして、長い間空家にしていた北九州の母の家に、埼玉から猫3匹を連れて、帰る事にしました。車は、イスズのみューの赤色で、四輪駆動車です。

まず、四角のゲージに、猫3匹を入れ、水、砂、えさ、そして、身の回りの品々、母の形見の品々、北九州に嫁いだ娘のおみやげ等、車の中は物で一杯になりました。平成11年の5月、東京有明のフェリー乗り場で、(旧東九フェリー)オーシャントランスフェリーに、車ごと乗りこみました。オーシャントランスフェリーは徳島と新門司にとまります。私の計画では、徳島の港でおりて、それから陸路を車で、九州に向うつもりでした。一晚、船はゆれましたが、すがすがしい朝、徳島に着きました。

\* \* \*

フェリーから降りて、そこからナビで、尾道大橋をめざしました。橋を渡っている途中に眠気がさしてきて、少しうつろになり、左車線を私の車と並行して走って

いたお年を召した男女が乗っていた軽自動車に、気がつきませんでした。車高の高いミューの横で、サイドミラーにうつりませんで、ちょうど死角にはいつていたみたいで、左車線に変更しようとした時、ぶつかりそうになり、気がつきびっくりしました。そこで眠気がさめました。

\* \* \*

まあそんな事もありましたが、無事、林英美子で有名な尾道の市街に入りました。途中、おいしいうどんを食べたりしながら、広島をめざしました。夕方、やっと広島市街に入り初めての広島なので、とりあえず広島駅を捜しました。駅の回りのホテルか、旅館を捜そうとしました。猫ちゃん達は、ゲージに入っていますのでそのまま車の中で、過ごしてもらおうつもりでした。JR広島駅裏の広島会館というホテルが、とれましたので、今日はここで一泊することにしました。勿論、猫ちゃん達もホテルの駐車場に止めた車のなかで一泊してもらいました。次の日の朝も、す

ばらしいお天気でした。それで、北九州に向う前に、原爆ドームをみてからと思い、ナビで捜してドーム見学をしました。原爆ドームは、さすがに身がひきしめられる思いでした。月並みですが、この悲しみをくりかえしてはいけなと思います。市電の走っている広島市街をぬけ、一路北九州に向いました。

\* \* \*

関門トンネルを渡り、無事九州に入りました。北九州の母の家に着いたのは、午後4時でした。着くとまっさきに、猫ちゃん達を家の中にいれてあげると、不思議そうな様子でおそるおそる3匹は動きまわりました。長い間閉めきられた家は、カビ臭く、たんすの中の衣類は、ほとんどがいたんでいました。弾力がなく、少し引っぱると、裂けてしまうのです。朝から張り切って掃除、整理をはじめました。家具、衣類など山程捨てました。草木もはえ放題で、ジャングルの様でした。御近所にもずいぶん、迷惑をかけていたのではないでしょうかと、申し訳ない事でした。毎日毎日、

草刈をして、枝の伐採をして車につんでゴミ処理場に、何度も運びました。

\* \* \*

1カ月程頑張つて家の整理をしました。結果、やっと人並の家らしくなりました。九州に嫁いだ娘にも会い、ゆっくり話も出来ましたし、東京の息子の結婚式も近くなっていましたので、結婚式の準備もあり、そろそろ埼玉に戻らないといけないと思っていました。出発する前の日に娘に会い、次の日にゲージにまた、猫ちゃん達をいれ、水、砂、えさを用意をしました。

ただ、夜出発するか朝出発するか、少し迷っていました。その夜、お仏壇に手を合わせどうか、無事に出発したどり着けます様にと祈りました。6月の初めでしょうか？ 夜11時頃、北九州の家を出発しました。とりあえず大阪方面まで、休み休み行けばなんとかたどりつくのではないかと、安易な考えで、計画もたてずに出発しました。まず、関門トンネルをぬけ、中国自動車道に入りました。午後12時近くに、

最初の美東SAにつきました。

\* \* \*

SAの駐車場は、深夜ですので、止めてある車もまばらでした。トイレをすませて、飲み物を買ひ、レストランの方に行きました。すでにレストランは閉っていました。何かパンか麺類の自動販売機があるかなとホールの方へ行くと、酔った男の客が、5、6人座っていました。1人は長イスで寝ていました。お酒がはいっている様でした。女性は私一人だったので、色々と話かけてきましたが、私は無視をしました。いくらおばさんでも、こんな真夜中に、女性一人というのも不思議だったのでしょ。あまりにしつこくかまってくるので、少し身の危険も感じてきました。早々に私は駐車場の車に戻りました。追いかけて来るのではないかと車にロックをかけて、静かに身をひそめていました。猫ちゃん達も心配そうな顔をして、ゲージの中からみていました。本当の事をいうと、私はこのSAで夜を過ごし、朝になってから出

発しようと思っていました。いつまでもここにいて何かあったらいやだなと思いましたが、早く出発しようとして車のエンジンをかけました。本線にもどって走りはじめました。猫ちゃん達は、ごはんを食べてゲージの中で元気だったのですが、何か落ち着かない様子でした。私は中国自動車道を、大阪をめざして進みました。その時、私といっしょに乗っていた猫ちゃん達は、ミーちゃん（メス）、チャコちゃん（オス）、マリオちゃん（オス）です。ミーちゃんが生んだ息子2匹の猫達で、合計3匹いました。猫ちゃん達の種類はチンチラシルバーです。しばらく中国自動車道の上り2車線の左側をキープして走りました。走る車もほとんどなく、とにかく大阪をめざして走りました。暗闇の中、コンクリートのガードが続いていました。ふと1台の大型貨物トラックが、遠く後から少しずつ私の車にせまって来るのが見えました。だんだん近づいて来ました。しかし左側を走っている私の車の右側の追い越し車線は空いているのだから、当然、私の車を追い越していくだろうと思っていました。その時間、走っているのは私の車と、大型貨物トラックだけでした。その大型貨物トラックは私の車にだんだん近づいて来て、時々パッシングをします。しばらくそんな感